

令和8年度 第2回学校運営協議会 議事録

- 1 日 時：令和8年9月19日（土） 午前9時から11時まで
- 2 場 所：静岡県立伊豆総合高等学校 土肥分校 応接室
- 3 出席者
委 員：勝呂拓也（会長）、涌田温実（副会長）、永岡正人、福室元輔、松本貴之
事務局：日吉健久（校長）、佐々木亮（副校長）、山本恵（教頭）、古谷知美（事務長）
深沢航平（探究担当教諭）
- 4 進 行：副校長（佐々木亮）／ 議事進行：勝呂会長

【議事の経過と結果】

(1) 校長挨拶

日吉校長より挨拶。当日はオープンキャンパスと同日開催であり、普段の授業風景や全国から集まっている下宿生の様子を参観してほしい旨が伝えられた。また、今年度始動した「土肥バディ・プロジェクト」についての取り組み周知と、地域・関係者の協力を求めた。

(2) 報告事項

事務局（佐々木副校長、深沢教諭）より、以下の事項について資料に基づき報告が行われた。

- ① 学校近況・生徒の状況：在籍数は54名（1年生21名〔男子12・女子9〕、2年生18名〔男子12・女子6〕、3年生15名〔男子8・女子7〕）であり、全員元気に登校している。

② 今後の学校行事予定：

9月29日（火）：「土肥バディ・プロジェクト」高齢者宅戸別訪問開始

10月5日（月）・6日（火）：2年生中間テスト

10月7日（水）～9日（金）：2年生修学旅行

10月7日（水）～8日（木）：1・3年生中間テスト

10月9日（金）：1・3年生：遠足（1年清水、3年江の島）

10月17日（土）：第2回オープンキャンパス

10月29日（木）：長期欠席生徒選抜説明会。

10月30日（金）：本校文化祭見学（本校・分校のeスポーツ対決企画等）

11月14日（土）：輝潮祭文化の部（第3回学校運営協議会を同時開催予定）

③ 生徒の活動・地域連携：

商業科の取り組みとして東海バスと連携し、伊豆市ひなた公園での「バスマルシェ」出店や生徒企画のバスツアーを実施予定（担当：山本教諭）。

商業関係各種検定への挑戦にあたり、同窓会からの検定受験料支援を活用している旨の報告。

④ 「土肥バディ・プロジェクト」の取り組み報告（深沢教諭）：

- ・背景・目的：土肥地区の高齢化や巨大地震時の個別避難計画策定の遅れを受け、高校生が「地域バディ」として高齢者に寄り添い避難計画策定を伴走支援する取り組み。
- ・これまでの経過：地域包括支援センター等の講義受講、ロコトレ（体操教室）への参加による交流、防災アプリ「逃げトレ」を用いた避難訓練等を実施。
- ・戸別訪問計画：9月29日より全校生徒（1～3年の縦割り班構成）が7地区の民生委員同行のもと独居高齢者宅等を訪問（第1回は挨拶・趣旨説明、第2回は商業科制作のカレンダー持参を予定）。
- ・事前学習・教員研修：吉本芸人・レクリエーション介護士・防災士のさこリッチ氏を講師に招き、対話・挨拶のワークショップを実施。また、毎週水曜1時間目に若手教員チーム研修を実施し指導法を検討しているほか、はごろも教育財団からの研究助成を獲得して2年間の研究として推進中。
11月5日には定期訪問（教育委員会視察）に伴う、地域住民も交えた校内研修会も予定。

⑤ 「高校魅力化システム」アンケート結果報告：

- ・強み：受容的で挑戦を後押しする校風（大人 100%、生徒 87.8%）、学校への帰属意識・満足度（大人 100%、生徒 79.6%）、地域との良好な関係性と探究活動の深化。
- ・課題：生徒の自己肯定感や生活全般満足度の低下（49.0%、前年比-10.5pt）、コミュニケーション・発信力への不安（自分の考えを伝えることができる 53.1%、-19.9pt）、教職員の業務負担感の増大（軽減につながっている 10.0%、-32.9pt）、家庭学習時間の減少。

(3) オープンキャンパス授業見学

佐々木副校長の案内により、2時限目の授業を参観した。

- ・見学ルート：2年生（論理国語） → 1年生（美術・書道） → 1年生（音楽） → 3年生（観光ビジネス） → 3年生（数学B）
- ・生徒が多様な選択科目（文理類型・観光ビジネス類型）に取り組む姿が確認された。

(4) 協議・意見交換

授業見学後、応接室にて勝呂会長の進行のもと意見交換が行われた。

- ・生徒の対人スキルと心のケア：生徒が初対面の高齢者とのコミュニケーションに不安を感じている現状に対し、さこリッチ氏の講座（適切な名前の呼び方、相手の話を聴く姿勢など）での学びを活かし、実際の訪問を通して自信や自己有用感を育むことへの期待が示された。
- ・地域での受け入れと期待：地域住民や高齢者側も若者との交流を心待ちにしてお

り、初回の民生委員同行など地域全体で温かく見守り支える体制づくりの重要性が議論された。

- ・地域資源を活用した学びの広がり：永岡委員から、富山県の小規模校（南砺平高校）で生徒が五箇山の観光客案内を行っている事例や同校に郷土芸能部があることが紹介され、土肥の歴史や地域資源について学び、観光客案内などを通じて生徒のコミュニケーション能力や発信力を高める取り組みについての提案があった。

(5) 今後の予定

副校長より今後の開催予定について案内がなされた。

- ・第3回学校運営協議会：令和8年11月14日（土）午後1時から3時まで（輝潮祭文化の部見学、ステージ発表審査、協議）。
- ・第4回学校運営協議会：令和8年2月16日（火）午後1時20分から（探究学習発表会見学、年間評価・課題整理）。

(6) 閉会の挨拶

涌田副会長から、閉会の挨拶があり、全日程を終了した。